

## 当院において振動障害と診断し労災認定された患者さま、ご家族様

### 【はじめに】

当院は振動障害の診断、治療、社会復帰に向けて長年取り組んできました。全日本民医連振動病交流集会に参加する事業所を中心に、振動障害認定例を対象にした、末梢循環障害、レイノー現象の臨床研究が計画されています。この研究は、振動障害の病像、とくに北海道から九州まで気候の差によるレイノー現象の出現頻度や出現の様態などを多事業所で調査するものです。この研究結果は、今後の診断や労災認定などに積極的な寄与をするものと思いますので、当院も参加することとしました。労災認定時の医師による所見書を研究目的に利用しますので、希望されない場合は末尾に記載の問い合わせまで、2026年3月31日までご連絡ください。

### 【研究の名称】

「振動障害認定例の末梢循環障害、レイノー現象についての多施設共同研究」

全日本民医連研究倫理診査委員会(2025年10月4日)で承認(承認番号 46-005)されました。

### 【研究機関、研究者及び研究代表者】

- 1, 研究機関・研究者; 振動障害の認定、治療などに取り組んでいる全日本民医連加盟の事業所と担当医師
- 2, 研究責任者; 福井県医療生活協同組合 光陽生協クリニック 院長 平野治和
- 3, 統計解析責任者; 福井大学医学部付属病院/医学研究支援センター/統計相談アドバイザー ; 真生会富山病院 徳永貴広

### 【研究の目的、意義】

労災認定事例における振動障害の3障害(末梢循環障害、末梢神経障害、運動器障害)の中で、末梢循環障害、特にレイノー現象に焦点をあてた研究です。地域別の発生率や、どの指が発生しやすいか、また振動工具使用年数や手指皮膚温との比較などを行います。尚、このような多施設による研究は行われておらず、今後の病態把握や労災認定にも積極的な意義を持ちます。

### 【研究の方法、期間】

振動障害認定申請時の「医師所見書」だけを対象として、調査します。

2025年10月から2028年3月まで

【研究対象者の選定と生じる負担並びに予測されるリスク、利益】

1990年以降で振動障害として労災認定されたすべての方を対象とします。研究対象として希望されない場合は、研究対象とはいたしませんし、不利益を受けることもありません。対象者となっても負担やリスクは生じません。研究実施中であっても、研究対象から除外を希望される場合は、下記担当者まで随時連絡いただければ除外させていただきます。

【研究に関する情報公開と研究方法に関する資料入手・方法】

研究結果は、民医連振動病交流集会(2027年)での報告を予定しています。また、日本産業衛生学会(2028年)での発表後、適切な医学雑誌に医学論文として公開する予定です。研究方法は研究計画書として保管しておりますので、閲覧希望の方は下記担当者まで連絡下さい。

【個人情報の保護、匿名化、研究終了後の廃棄方法】

研究対象となる、医師所見書の中で、氏名は匿名化します。研究に必要なため、生年月日(年齢)、性別、住所(レイノー現象の発生率に関わる居住地の気温に関連して必要です)の非識別加工は致しません。医師所見書は上記研究代表者が一括保存、管理し、他機関に情報提供することはありません。尚、研究終了後シュツレッターなどの適切な方法で廃棄いたします。

【利益相反】

対象となった方への謝金はありません。本研究は、全日本建設交運一般労働組合(建交労)からの基金にて行われますが、研究の計画、結果、公表などに関連して建交労とは利益相反はありません。研究結果については、学会報告や、掲載された場合の論文紹介を含めて、建交労に対しては結果説明会を予定しています。

お聞きになりたいことや、ご心配なことがある方は、下記の連絡先までお問い合わせください。

2025年11月

【問い合わせ先】

研究者 平野治和

連絡担当者 土田佳代(事務責任者)

事業所名 光陽生協クリニック 電話;0776-24-3310 FAX;0776-24-5738